

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経営学部	経営学科	夜・通信		158	60	218	13	
	イベントプロデュース学科	夜・通信			98	256	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPの情報公開にて公開 *ホームページURL： <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/silabus/">https://www.fuji.ac.jp/academics/silabus/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPに掲載 <https://www.fuji.ac.jp/guidance/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立大学医学部教授	R5.6.1～ R9.5.31	大学経営に対する 総合的助言
非常勤		R6.4.1～ R10.3.31	大学経営に対する 総合的助言
非常勤	株式会社取締役会長	R5.6.1～ R9.5.31	大学経営に対する 総合的助言
非常勤	医療法人理事長	R5.6.1～ R9.5.31	大学経営に対する 総合的助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準を具体的に学生に開示するため、シラバスにおいて学習の到達目標と評価基準の明示を行っている。                  学習・教育目標、評価方法および評価基準、評価の配分について、各項目を設定し、具体的に記載している。                  なお、学生はシラバスを学習管理システムで PC やスマートフォンで閲覧でき、大学ホームページにも掲載し公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	大学 HP に掲載 学部： <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/silabus/">https://www.fuji.ac.jp/academics/silabus/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)                  本学では、厳密な単位認定を実現するため、年度当初に専任教員及び非常勤教員に対して成績評価の基準値を定め、「学務部からのご案内」という書面を配布し、明確に提示している。また、成績評価基準及び GPA 制度の内容について学生要覧に記載し、教員並びに学生に周知して学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を付与している。                  なお、卒業論文は「論文指導(卒業論文)」(2単位)という科目を履修した専門演習所属学生に対して、担当教員の審査によって単位修得を認めている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、成績評価においてグレードを5段階で設定してGPAの算定を行っている。履修登録したすべての科目がGPAの算出の対象となる。履修放棄の科目、出席不良等で「停止」評価の科目も含まれるので十分な学習計画を立てることが必要。GPAは、成績評価に対してそれぞれのグレード・ポイント(GP)を与え、GPに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修登録単位数で割ることにより算出している。</p> <p>また、「S評価は履修者の10%以内、S評価+A評価は30%以内を目安」とするかたちで安易な高評価を行うことについては注意喚起をするとともに、全教員が成績評価後、授業評価報告書の提出が義務づけられている。</p> <p>この授業評価報告書において、S評価及びS評価+A評価が基準を超えた場合には、そのパーセンテージを明記した上で、なぜこのような評価となったのかについての説明を記載することが求められ、学務部長は、この報告書を見た上で追加の説明を求め、改善を指導することができる。</p> <p>このようにPDCAサイクルを用い適切な成績評価を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学HPに掲載(2026年度版はP46～)。  <a href="https://www.fuji.ac.jp/students/student_outline-2/">https://www.fuji.ac.jp/students/student_outline-2/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の基本方針であるディプロマ・ポリシーでは、「経営学を基礎とする人間教育及び将来の職業生活へとつながる実践的教育を実現することをめざし、時代の変化に柔軟に対応し得る応用力、特に課題発見能力と問題解決能力の育成を重視」するとの前提に基づき、所定単位修得及び経営学の知識の習得とその活用、情報分析と問題解決への論理的思考、能動的・創造的行動等の能力を習得した学生に対して学位を授与するとしている。</p> <p>ディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学では教育内容に関して、本学学生が習得すべき能力を反映するカリキュラム・ポリシーを策定しており、両者には一貫性をもたせている。</p> <p>なお、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとも本学ホームページに掲載し、これを周知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>大学HPに掲載  <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/business/">https://www.fuji.ac.jp/academics/business/</a></p>



(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営学部
教育研究上の目的(公表方法:HP に掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/guidance/about">https://www.fuji.ac.jp/guidance/about</a> ) (概要) 創立者高田勇道先生が掲げた「人道による世界平和」実現の理想のもと、「建学の趣旨」に則り、社会に貢献できる有為の人材を育成するため、時代に即した「人間教育」を行う。社会科学教育によって、職業ならびに社会生活において必要とされる能力を育成するとともに、幅広い教養教育によって品位の向上につとめ、判断力を養い、人間性豊かな調和のとれた教育を行う。 また、「教育とは学生に生命をあたへてゆくことである」という創立者の自戒の言葉を「教育指針」としている。つまり、教育は単に知識を学生に教授することだけではなく、創立者が掲げた理想を学生に伝えながら、その夢を育み、学ぶ意欲を喚起するところの人間的な触れ合いを大事にする「人間教育」を行っていく。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : HP に掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/business/">https://www.fuji.ac.jp/academics/business/</a> ) (概要) 東京富士大学経営学部 (以下、本学) は、建学の精神及びこれに基づく基本理念並びに教育目的 (学則第 3 条の 2)、経営学を基礎とする人間教育及び将来の職業生活へとつながる実践的教育を実現することを目指し、時代の変化に柔軟に対応し得る応用力、特に課題発見能力と問題解決能力の育成を重視している。従って、本学学則に定める履修条件を満たし、124 単位以上を修得したものに学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : HP に掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/business/">https://www.fuji.ac.jp/academics/business/</a> ) (概要) 1) 初年次教育では、経営学を学ぶ上で必要な基礎知識と、大学で学ぶ意義と学び方の方法論 (アカデミック・スキルズ) を必修科目である基礎演習により対話と議論を通じて学習を進めるとともに、初年次の学生のケアを含めたきめ細かな個別指導により円滑な学生生活をスタートできるような仕組みを構築している。 2) 総合教育科目は、豊かな人格教育と幅広い見識や教養を身につけさせ、人間性、創造性を育むために自然科学、社会科学、人文科学全般にわたる教育内容を提供し、豊かな演習、教養、多文化共生、コンピューター、スポーツ、キャリア科目および学生の自主的で多岐にわたる活動に応じて認定される認定科目といった多彩な科目で構成されている。 3) 外国語教育では、英語教育において習熟度別クラス編成を採用し、グローバル社会に対応するため英語を含めた語学の能力を高める多文化理解科目を配置し、高度なコミュニケーション力を育成するプログラムを編成している。 4) 本学では、経営学教育の中核をなす専門科目に関して、必須科目である経営学や選択科目である経済学・法学などの基礎的な知識を身につけた上で、応用科目や発展科目を体系的に履修できるようなカリキュラムマップ (コース別) を作成し、学生に提示している。 5) 本学では、演習型の教育を重視しており、1 年次「基礎演習」、2 年次「プレ演習」、3 年次「専門演習 I」、4 年次「専門演習 II」を配置、非ゼミの学生には、単年度ゼミも設置し、学生の多様なニーズに対応したゼミ活動をしている。 6) 本学は、専門教育における学修成果を年 1 回 (11~12 月)、全学的な取り組みとした「ゼミ発表大会」を開催し、その発表内容・方法において優秀な発表に対して表彰するなどして、学生の課題解決やプレゼンテーション能力などを涵養している。 7) 将来のキャリアに対する意識を高めるため、1 年次より履修科目「キャリアデザイ

<p>ン」を配置するとともに、学生の就職支援を積極的に推進するため「就職特講Ⅰ・Ⅱ」を開講し、1年次から4年次まで一貫した就職支援教育を提供している。</p> <p>8) 地域の企業・金融機関や自治体などと連携した体験型の講義・演習を取り入れ、現場での経営学教育を行っている。とくに、企業現場での課題発見から解決まで自ら体験することや経営者との議論を通じて、学生の問題解決能力を育成している。</p> <p>9) 人間心理に対する深い理解と経営的センスを兼ね備えた人材を育成するため、心理学（組織行動、社会心理学など）を取り入れた教育を実施している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針        (公表方法：HPに掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/business/">https://www.fuji.ac.jp/academics/business/</a>)</p>
<p>(概要) 本学は、知識を詰め込む教育ではなく、社会やビジネスで生ずる様々な課題や問題を発見し、試行錯誤しながら自らそれを解決しようとする態度や能力を育成する教育を行います。このため、いわゆる学力のみならず入学志願者の個性や意欲に着目するとともに、今後、社会において活躍できる将来性や潜在能力も考慮して、志願者を選抜します。</p> <p>1) 自己の興味や関心のある事柄について、自ら新しい知識を得たり課題を発見しようと努力することができる者を求めている。</p> <p>2) 人間社会や企業経営の新しい動向や変化に興味を持ち、社会の発展のために積極的に貢献しようとする意欲を持っている者を求めている。</p> <p>3) 多様な価値観を尊重し、多くの人と協同して物ごとに取り組むことができる者を求めている。</p>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：大学HPに掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/guidance/publication/">https://www.fuji.ac.jp/guidance/publication/</a> )</p>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
経営学部	—	20人	14人	5人	1人	0人	40人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		73人					73人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：HPに掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/teachers/">https://www.fuji.ac.jp/academics/teachers/</a> <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/teachers-performance/">https://www.fuji.ac.jp/academics/teachers-performance/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営学部	220人	192人	87%	880人	809人	92%	若干名	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	220人	192人	87%	880人	809人	92%	若干名	2人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営学部	222人 (100%)	3人 ( 1.35%)	186人 ( 83.7%)	33人 ( 14.8 %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	222人 (100%)	3人 ( 1.35%)	186人 ( 83.7%)	33人 ( 14.8 %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )
	人 (100%)	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )
合計	人 (100%)	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) HP に掲載 (シラバス) <a href="https://fujiac-web.campusplan.jp/cpsmart/public/dashboard/main/ja/Simple/1900/3000120/wsl/SyllabusKensaku">https://fujiac-web.campusplan.jp/cpsmart/public/dashboard/main/ja/Simple/1900/3000120/wsl/SyllabusKensaku</a>
---

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) HP に掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/business/">https://www.fuji.ac.jp/academics/business/</a>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	124 単位	有・無	単位
	イベント プロデュース学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : HP に掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/04/951e06f66e9d49410ee7f2b53fe46e76.pdf">https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/04/951e06f66e9d49410ee7f2b53fe46e76.pdf</a> <a href="https://www.fuji.ac.jp/guidance/facility/">https://www.fuji.ac.jp/guidance/facility/</a> <a href="https://www.fuji.ac.jp/access/">https://www.fuji.ac.jp/access/</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	700,000 円	200,000 円	360,000 円	
	イベント プロデュ ース学科	700,000 円	200,000 円	360,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学の学習支援体制は、教員を中心に構成される「教育支援委員会」により実施しています。具体的には、専門性の高い授業については教員のニーズに対応することにより、担当教員の特性を生かしつつも最大の教育効果が実現できるよう支援しています。1年生の選択必修科目である「基礎演習」では、教育内容について教育支援委員会主導で担当教員による支援を行うほか、外部講師による特別授業のアレンジなど、積極的な教育支援を行っています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 「就職特講 I・II」をはじめとする授業科目内でのキャリア支援科目の充実、進路選択時の個人面談やPROGテストの導入など、少数大学ならではの顔の見える個別指導、都心立地の利を生かした周辺企業や地域と連携した社会体験の充実など、多様な施策を展開しています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学には、学生相談室が設置されています。学生が快適な大学生活を送るために、学修に関する問題や心の問題の援助を行っています。学生相談室のスタッフは室長と専任カウンセラーの2人体制で、公認心理師と臨床心理士の資格を有しています。火曜日、水曜日、金曜日の週3日開室しています。開室時間は10:00~18:00となっています。周りの人に気づかれにくい時間帯の来談を希望する学生のために配慮を行っています。月曜日、木曜日は来談予約受付で対応をしています。 学生相談室のPRを兼ねて、新学期に全学生を対象に「学生生活意識調査」を実施しています。相談希望がある学生で、且つ連絡先を記入した学生に対しては学生相談室より連絡をとり早期の相談に繋げています。他には、キャリア支援部と連携を図りながら、障害を持つ学生の就労支援を積極的に行っています。また、学生支援担当と連携を図りながら、留学生の支援も行っています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：HPに掲載 <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/seminar_tournament/">https://www.fuji.ac.jp/academics/seminar_tournament/</a> <a href="https://www.fuji.ac.jp/academics/business/">https://www.fuji.ac.jp/academics/business/</a> <a href="https://www.fuji.ac.jp/guidance/publication/">https://www.fuji.ac.jp/guidance/publication/</a>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。